臺灣新民報 夕刊 四月六日
（第二版）（原題印線）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
夕刊定價 一部二錢
臺北市旭町一丁目五番地 臺灣日日新報社
基隆支局 臺中支局 臺南支局 花蓮港支局 大阪支局 東京支局
臺北市西門町一丁目七番地 臺灣新民報社
基隆市仁愛街 臺中市賣買街 臺南市錦町 花蓮港街 大阪市西區 東京市京橋區
發行所 印刷人 佐々木 貞

政府が堂々挑戰
抗爭は愈よ激化
政黨の鬪志も旺盛

【東京六日發】政府は五日地方長官會議を開催し、林首相は其劈頭において堂々政黨に對して挑戰的態度を表明し、內務、司法兩省の檢察當局は又人民戰線の首に鈴を懸くる如く、眞劍の選擧粛正に關し嚴重取締るべく機敏なる指示を行ふと共に、閣議も六日は選擧粛正委員會を開き具體的對策を樹立、これにて一擧政府の總選擧態度は完全する事となつて居るが、政府は更に地方長官會議に呼應して擧國一致の態勢を確立し、各地に於ける選擧運動の取締を嚴にし、政友會も亦首相の劈頭の訓示內容から一層政府的態度に硬化し、今次政戰の對立抗爭が暗示され、選擧戰は頓に活況緊張を呈するに至つた、就中突如として解散を斷行した政變後始めての出馬は著しく目立ち、今次政戰の特異現象として注目されてゐた立候補者發表も愈々文字通りの白熱戰が展開されんとしてゐる

【東京六日發】政府は地方長官會議を機に現內閣の財政經濟政策に關し各長官をして理解徹底せしむるため五日後官邸における晩餐會席上結城藏相の演說に代へ次の如き財政經濟政策に關する要旨を發表した、要旨左の如し

現下の國際情勢に鑑み當分軍備充實に必要な金額の多きに加へ、生産擴充に重點を置き、國民生活の安定を圖ることを必要とし、國費の膨脹は極力これを抑制し、增稅は之を避けねばならぬ所であるが、國防の充實、國民生活の安定その他緊要なる政務の遂行上已むを得ざる場合には增稅を斷行することもあり得るが、現內閣としては今後この點に政策の重點を置いて行きたいと思つてゐるのである

生産力擴充に
政策の重點
演說に代へて地方長官に
藏相が文書を配布

【東京六日發】政府は地方長官會議にも關連し、各長官に對し、今次の選擧粛正の上連かにその實現を期すべく、左の通り文書を配布することとなつた

一、今次の選擧粛正實施に當つては、從來の選擧粛正運動の缺陷に鑑み、特に選擧運動費用の制限、選擧運動の方法、選擧違反の處罰等につき徹底的に生產力を擴充して行くことを目標とは適當に解除緩和とは考へられぬ、現內閣としては今後この點に政策の重點を置いて行きたいと思つてゐるのである

一、英政府は獨伊兩國の來訪問題の解決に關し、英佛代表と會見し、國際外交一般に關しても意見の交換を行ふと共に、ロンドン新聞界は英獨經濟協定の締結に關しても傳へられるが

天皇陛下には
靖國神社大祭に行幸
皇后樣にも行啓遊ばされる

【東京六日發】來る二十五日から四日間靖國神社に於ける春季大祭に先立ち執り行はれる勅使參向の儀は滿洲國の人心を一新となつた本儀を新たに合記する本祭以來第四回目の盛儀で大祭當日の二十七日には畏くも天皇陛下の行幸を仰ぎ奉ることになつてゐるが同日は皇后陛下にも行啓あらせられ親しく御拜遊ばされると拜する皇后陛下の靖國神社に行啓遊ばされるのは御成年以來のことであらせられる

キング首相主催の
晩餐會に御臨席
秩父宮同妃兩殿下

【オッタワ四日同盟特派員發】帝國公使館における內閣の午餐會に臨まれた秩父宮、同妃兩殿下には四日午後二時公使官邸を出發市內外を二時間餘に亙つてドライヴ遊ばされた後、一旦總督官邸に御歸り遊ばされ、次で午後六時米國公使アルモール氏を官邸に御訪問昨日同公使の御挨拶に對し御答禮あらせられ更に午後八時よりホテル・シャート・ラリエの宴會場に臨まれた晩餐會にも御臨席、カナダ側出席者はキング首相以下各閣僚、外交團其他貴顯を網羅し全部で七十名が出席、先づ殿下には英皇帝の為め御乾杯次でキング首相は 天皇陛下の御為め恭しく乾杯十時宴を閉ぢそれより同ホテル舞踏場におけるレセプションに移りカナダ朝野の名士約六百名列席兩殿下には一々御見を賜はり日加親善の和かな空氣の裡に十一時過ぎ卿は第二コースの征覇に 上るべく日本空目指す第二コースの青隧地ハノイに向つて發進した

惡天候を突破し
"神風號"臺北に到着
給油の上ハノイに向ふ

甲號飛行士 奏吉酒井陸軍航空部長、山縣內務局長、島田文教局長、泊警備司令官、腹田台北州知事、石井台北市尹、矯方海軍武官、加藤台北稅關長、吉田台銀頭取

等の官民多數が參集し盛大な歡迎陣內で同機が燃料補給中に當來者種氏の等をねぎらひ同八時頃給油を終へた同機の出發で兩氏を取り圍み萬歲を三唱した、次で兩氏は官民の祝福の裡に自動車にて臺北市內を一巡し午後一時半頃から臺北飛行場で催された歡迎午餐會に臨み午後二

家庭と婦人

母になつても……青ぞらへの憧れ

女鳥人久富芳子さん

日本のリンドバーク夫妻として航空界に謳われた久富鐵・芳子兩鳥人夫妻は、昨年八月豫備役後直ちに日本航空會社北支所勤として來台、夫鐵雄氏は島内定期航空に、芳子さんは令年五月末にはお母さまにさへなるといふ、この兩人は千葉縣の第一航空學時代から關分有名で、殊に芳子さんはその校龍の正關さに於て若き美人とでは日本女流パイロット中での第一人者であり若い飛行士間を關分悩ましたものである。今はよき妻として、また來るべき日の母として白北面東門町文化村一號に愛しい家庭を營んでゐるが、この美しい女流パイロットを同家に訪れる

○……

彼女は東京麹町區の大きな商物問屋の三女として生れ幕悦高女女史の女子商業學校に入學した頃から聰々な學級をいぢる事に興味をもつ樣になり、同校を卒業する頃には「つかり飛行家になると云ひ出して家人を驚かせたものである。聰ひかなつて千葉縣第一航空學校に入學し十九歳の秋には晴の二等飛行士として東京の青空を我もの顏に翔けまはつたものである。飛行士の資格を受けると同時に自動車の運轉に夢中になりだして、勝氣な彼女はしばらくして自動車の發動機もとつてしまつたのである

○……

女流飛行家が自分の技術をもつづく發展しました、そしてつい操縱器をのぞいては世に叱られたりして笑ひぢたわ

○……

女流飛行家が自分の技術をもつてゐながら、何時の間にか影をひそめなければならないのは、「飛行家」としての路がひらけてゐないからです、職業として牧人の道が踏ぢられるならば女流飛行家はもつと〳〵發展すると思ひます

○……

定收入があつて毎月おきまりのことをする點は婦人にとつてはよくない——と心理學者はいつてゐる婦人は一つの職に固執し、その職を後生大切にまもり過ぎることに注意しなくてはいけないとは醫學心理學研究所の醫學者の言葉である

○……

彼らの明日のパンとバターが何處から來るかも知らない人々の方が神經衰弱にかかつてゐないやうである。我々の調査の結果はおきまりの職を好む方が一般に神經質の婦人である、おきまりの職は彼女たちをして自分たちの生存が永久に安全であると感じさせる、でも彼女らは容易に普通觀念に捉はれ易く、何か變化の兆候でも示される時は彼女たちの脳病さは益々激しくなつて意識を朦朧させる

この安定したものを摑でゐるといふ點の結果として多くの女性たちは自分たちに適しない職にあることを公表してゐる、學生を六人ハムモックに休ませて藝術の問題を解かしたところ彼らは實直立つてゐる時より遙く正確に問題を解いたといふことである

○……

また產業心理研究所の家庭問題部で行つた實驗は喫茶店で物を取はす心理的原因が喋り合ひや話題する時や不必要に待つ時であることを示した、給仕女たちが氣持よく働くのは喋り合ひに代りに氣仕掛のボタンの操作機を押す時であることがわかつた、仕事が能率的で愉快さを感ずる場合はリズムが非常に役立つ、さういふわけで英國のタイピストたちは自分の機械に合はしてリズムを作ることを許されてゐる

婦人と職業

產業心理學から見て

○……

ここにおいてイギリスの產業心理研究所では少年、少女はストップウオッチや色彩のある水片や多くの知識的テストによつて眞にこの人生において何に適してゐるかを發見し得るのである、婦人たちは單調な關聯を避けたがいい、何故といつて彼女たちは男性よりも「感氣」に感受し易いからである

○……

英國の勞働協同組合は最近心理學者の忠言に基づいて、事務部に着色したデスクや壁紙をおいてゐるが、その結果は良好である、色彩はタイピストにとつて勞働物としての效果を現してゐる

○……

ニューヨークではコルゲート大學の心理學教授ドナルド・A・ライアード博士は效率であるといふことが仕事にとつては別の勞働物であることを公表してゐる、學生を定收入があつて毎月おきまりのことをする點は婦人にとつてはよくない——と心理學者はいつてゐる婦人は一つの職に固執し、その職を後生大切にまもり過ぎることに注意しなくてはいけないとは醫學心理學研究所の醫學者の言葉である

○……

彼らの明日のパンとバターが何處から來るかも知らない人々の方が神經衰弱にかかつてゐないやうである。我々の調査の結果はおきまりの職を好む方が一般に神經質の婦人である、おきまりの職は彼女たちをして自分たちの生存が永久に安全であると感じさせる、でも彼女らは容易に普通觀念に捉はれ易く、何か變化の兆候でも示される時は彼女たちの脳病さは益々激しくなつて意識を朦朧させる

この安定したものを摑でゐるといふ點の結果として多くの女性たちは自分たちに適しない職にあることを公表してゐる、學生を

黑砂糖で蟲封じ

農會の人は黑砂糖に親しむ

いやうで吁が、この黑砂糖は、經濟的な調味料であるほかに、相當强い殺菌作用を持つてゐるので重寶がられてゐるやうです、腸氣がよくなつて、齒などが盛んに繁殖する時など、これをよく〳〵と火にゆらすと、齒蟲退散することは實に嬉しい、また、地方の子供達は、よく野山で蟲に刺されたりするが、さういふ時に、黑砂糖を唾液で粘つてつけたりします、殺菌と同時に藥みを去り、膨れを引かせることにこれまた卽效的があります

支那の集團結婚

古夫婦まで混つて

"二國支那"といふ國は進歩してゐるのか、退歩してゐないのか、一向分らん國だネ"とは當節の巷間の聲である、だが案外古い老いたる支那だつたのが實は新しい殊に新介石氏が提唱するところの"新生運動"が支那の封建的觀念をグン〳〵改良して行つて、今では新大人も"出來の種樣"とあがめられ、彼自身すつかり感に入つてゐるとか……たゝ角にも幸ひなる哉、中華のハナヨメ、ハナムコーである

▽……△

新しい支那の新しい結婚——まアどんな具合に進歩したかと云へば多分に漏いロシアの匂ひが掛つてゐる、舊聞結婚——といふのがそれで、これは從來よりも非常に單純化されて、四億民衆にヤンの系統を消びたものだ、數つかの組が同一場所で同時に挙式される、媒酌人は土地の市長とか町長といつた人、そしてゐない費用で御かの時間で一年に數回行ふといふ仕組なのだ、ある、一二ヶ月前にその期日や場所が新聞に發表される、そこで希望者は一枚書類に添へて願書を提出すればよい、許可が下ると期日に先立つて式の練行までやることになつてゐる、結婚式の練行——凡そ笑なりけりだが練行の時に新郎新婦を初め式服を挙げに結婚のまゝ流郎手落ちのないやうに係の人から指導を受け、愈々時が來ると先にも述べた市政所または公會堂たと指定された場所に參集するわけである、式服に凡て洋風で壇場に多くモーニング新婦は純白の裳を長く引いた歐米

▽……△

愈々一生一代の結婚式が擧行されるが、先づ參集した二三十組（多くは五十組といつた感覺新婚の一組が大體の大きであるが）を多分に漏いロシアの匂ひが掛つてゐる、舊聞結婚——といふのがそれで、これは從來よりも非常に單純化されて、四億民衆にヤンの系統を消びたものだ、數つかの組が同一場所で同時に挙式される、媒酌人は土地の市長とか町長といつた人、そしてゐない費用で御かの時間で一年に數回行ふといふ仕組なのだ、ある、一二ヶ月前にその期日や場所が新聞に發表される、そこで希望者は一枚書類に添へて願書を提出すればよい、許可が下ると期日に先立つて式の練行までやることになつてゐる、結婚式の練行——凡そ笑なりけりだが練行の時に新郎新婦を初め式服を挙げに結婚のまゝ流郎手落ちのないやうに係の人から指導を受け、愈々時が來ると先にも述べた市政所または公會堂たと指定された場所に參集するわけである、式服に凡て洋風で壇場に多くモーニング新婦は純白の裳を長く引いた歐米

▽……△

しかし以上の集團結婚法にも色色の難點があり、當局側があるものである、新郎新婦の親類がニュースとして新聞に出るところから"結婚媒介人"によろし"と支那一流式に若い二年も二年も前に結婚したり、そこで所謂この種の新郎新婦が式後自動車に乘るときその自動車の中に赤ン坊を抱いてゐた婦がバレてトンダ騒ぎをやつてしまつたなどの珍事が非常に多く起つてゐる、さてこの集團結婚は各國的に流行してゐるやではない、新しい試みとして、まだ試驗期にあるが、これが非常な人氣をかもしてゐる點に事實だ、黄金國の支那の事の事であるから、それに本當にあらう（S・T・O）

ビオスタン

補血強壯
造血アウトホルモン

各帝國大學醫學部病院
指定常備藥

ブルトーゼ（二〇〇錠 二〇〇）
アルゼンブルトーゼ（二〇〇錠 二〇〇）
ヨードブルトーゼ（二〇〇錠 二〇〇）
キナブルトーゼ（二〇〇錠 二〇〇）
コゲアルブルトーゼ（二〇〇錠 二〇〇）
其他ブルトーゼ（二〇〇錠 二〇〇）

「活力の源泉」
B122

株式會社 蘇澤吉友商店
町錦通西東市阪大
町木屋橋本日京東

家庭常備藥

ふと合に聞くす

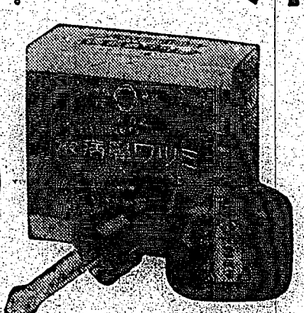
ミツワ家庭藥は三十二方ありまして何れも内容明記安心して用ひる價利です

ワツミ鼻疾の藥 ミツワ液

愉快に仕事を進め、勉强の能率をあげるには何よりも鼻の健康が第一です……

適應症

鼻加答兒、鼻充血、鼻出血、肥厚性鼻炎、鼻瘜蓉、臭鼻症……其他には本劑をお奬め致します。



定價壹圓八十錢　定價壹圓　定價壹圓

ワツミ痒止制汗

蚤に刺されたり——または！

痒みを止めるに效果があります

チウブ入 定價二十五錢

ミツワ養毛液

脫毛・雲脂に困る時……

その他、毛髮の發育を良くしたい方、整容に於ける方の必需品、殿方の髭剃後に、それに洗髮を加へた樣がな效果があります。

定價一壜 金六十錢

ミツワ・リンセン

病氣になつたら——何よりも不斷のお手當！

適應症

急性淋疾、慢性淋疾、尿道口よりの膿、尿道痛、尿時尿意頻數、

用法 尿道を洗滌す

定價八十錢

ミツワ・シピロトレプ

適應症

急性淋疾、慢性淋疾、尿道口よりの膿、尿道痛、尿時尿意頻數、

用ひ易い內服藥です シンセニンと併用なされば一層效果があります

五十錢入 定價一圓八十錢

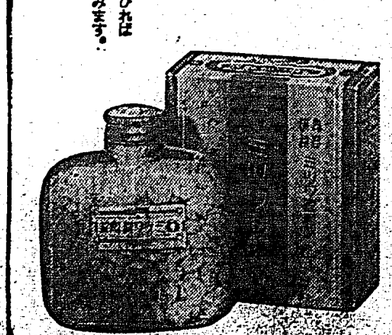
ワツミ制酸錠

さけ のどくけし

宿醉・酒の惡醉、飮過ぎ 惡心、嘔吐、甘い物の喰過ぎなど……

行樂に、宴遊に、春は 必ず御用意が大切です

お藥の前に用ひれば 醉はずに寢られます。



定價 百二十錠入 二十錢 二百錠入 三十錢

曉星雙紙 (29)

(承上回)

田中貢太郎作
河野通勢畫

水郷 (四)

「無駄氣か、馴か、とんだ姫でして」

親じは阿親に前をしておいて、無遠慮に自分の盃を持つたが、酒が無いので睨つて伊之助を見た。

伊之助はすぐ銚子を持つた。

「お手が鳴つたら、銚子だと」

親じは苦笑した。

「それが猿公だと云ふのだ」

「その猿公かなけれや、阪ろのでせう」酌をして親じの顔を覗きこんで、「旦那、へい」

「へいは、へい、へい、へいのへいなので」両手を出して拳を重ねた。「これなのでせる」

「しかたがない奴だ」

親じは眞面目にしかたがないと云ふやうにして、盃から唇うな眸をした。

「さあどうでございますか」氣が注いたやうに、「旦那さんは、これから潮来へいらして、今晩はお泊りでございますか」

「なに潮来へ往くと云つても、何処へ往くと云ふ目的はないし、面白い事があれば、明後日でもいい、他へ往つてもいいし、あんたは」

「わたくしも、何処へまわりましてもよろしうございます、どうせ遊びに来てをりますから」

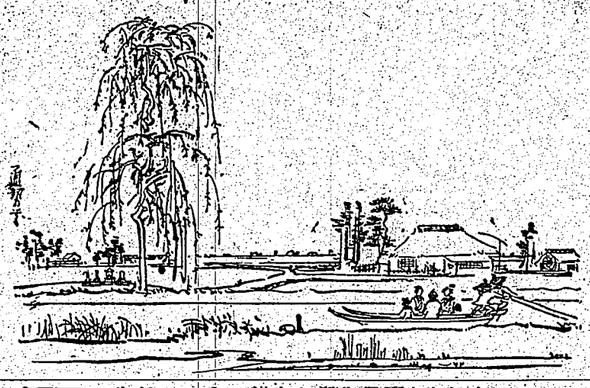
阿親は御託のないやうな顔をした。

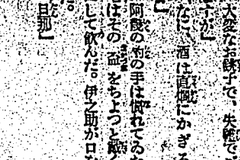
「それでは、佐原のわつしの宿へ引返しては」

「おさしつかへがございませんやうなら、相談をお願ひいたしたいものでございます、御潮はおかけいたしませんから」

「なに潮来が何もない、それでは宿へ往つて」盃を見せて「ゆつくりやりませうや」

二艘の舟は間もなく舳を並べて、しだいに岸くなつて往く潮筋を佐原の方へ往つた。





趣味と娯樂

心と的は一體 無想の線で引け (2)

日置流竹林派 教士 古山春司郎

◇

(星)野郎左衛門の云われた様なことは他に経験する所で、自遠に両手者は殊に経験する時に、併し乍ら私と密に思ふに星野郎左衛門が最初日本を引く間に二度無念無想に変化を生じたかも知れないふことは是は眠る瞬間である、假に星野郎左衛門の云ふ通り二度も無念無想に変化を生じたとすれば決して百射の的中は出来なかつたであらうと思ふ、私等の経験なる経験によれば少し調子よい時に此の分で自百射的中が出来るかも知れないから一つ一生懸命になつて的中してやらうなどと山気を出すと

(忽)ち矢所をすると、矢所をする又後は気分が乗になつて大変よく引けるといふ事を経験する、百射の内九十九中と

いふ様には非常に難しい事も聞きも聞くする的の様は極て少いのである的中の様は極て少いのである、星野郎左衛門のこの二度の無念無想の変化といふ事は実際なかつたのであるか、未熟の者にはよくある事であるから、星野郎左衛門を責める為に云われた言葉ではないかと考へる、星野郎左衛門の人物と経験を考へて見ても非常に立派な人格者で決して嘘の事の下手なる山気などを出す様な人ではないと思ふ、夫は紀州侯の家臣に和佐大八郎といふ

(名)射手があつて星野郎左衛門の二十二間堂の八千二百本の大記録を破らんとして其勇気を二十二間堂に現はした事があるが非常な努力で射続けて行く内殊に腰が腫れ上り時に星野郎左衛門の記録に近付かんとした時遂に腰の痛みに堪へ兼ねて引続いて引く事が出来ぬ様な状態となつたが和佐大八郎は後見人等が非常に心配し狼狽したのであつたが其時星野郎左衛門は驚つて之を見て居るに忍びず人事ならずと和佐大八郎の前に進み出て「私が治療して上げよう」と云ひ乍ら和佐大八郎の左腰を少し切開き充満せる黒血を絞り出し

(丁)度に手當をしてやつた為に和佐大八郎は最遂に腫れ上つて伊之助の前へ投げた。

「つまらん事を云つたら、くれてやらないから、さう思へ」

と、軽かに大きな声で、

「くれてやらないとおつしやるそれや男らしくねえや」

「慎さい、黙れ」

阿親はその時間野の「盃」へ酒を注いでやつた。親じは眼をはつきりと見た。親じはちよつと氣になる事があつた。

「わつしの方は、猿公だが、あんたの方は、良い狸使だしつかりしてゐなさる、やつぱり小判さん」

「小狸代りに使つてをりますが、頭の児でございまして、狸ばかりは、どうやら狸使でございますが、まだ、ほんの児でございまして」

「それでは姫子か」

「姫と申しましても、理がございまして、尼介物でございます」

「なに、男はいいし、りつぱな肚使ちや、今に物になりまさる」

◇

カナ文字ニュース

△オ天氣ガ悪カツタタメ出發ヲノバシテキタ神風機ハ六日午前二時十二分東京ヲトビ出シ八時ず四分臺北ニツキ九時十七分インド支那ノハノイヘムカヒマシタ

△内地ト臺灣トノ間ヲハシル アタラシイ船、富士丸ハ六日キイルンニ着キ、ニギヤカナカンゲイガ行ハレマス

△毎日雨ガフツテイヤナオ氣デス、物ニカビガハエタリクサツタリシマス皆サンカラダヲ氣ヲツケマセウ

市況 (六日)

臺北正米市況

| | | |

(一) A 第一万三千三百二号 (日曜外) 新日本海 昭和十二年七月四日 (昭和十年一月九日第三種郵便物認可) (臺灣新聞)

戰ふ日本の中堅將校

臺灣日日新報

本日夕刊共十六頁
社長 木下佐人行設兼編輯
臺北市榮町三丁目四番地
社報新日日新報臺北所行設
電話〇〇八号 讀者係代 話電

會議座

陸軍出席將校

陸軍航空本部 高橋常吉大佐
陸軍航空本部 有馬廣士少佐
陸軍技術本部 平野淵中佐
陸軍科學研究所 久德知至大佐
東京警備司令部 新井匡夫中佐
東部防衛司令部 小川一郎少佐
東部防衛司令部 倉澤勤三郎大尉
陸軍省新聞班 大久保弘一少佐

陸軍省より右の各部代表將校は出席された！

雨降らば降れ 内閣總理大臣 林銑十郎

よ見を容内い凄物のこ！

▼戰爭はいつ始まるか？
▼戰爭はもう始まつてゐる
▼戰爭はどうして起る
▼恐ろしいバイキン戰法
▼英露支共同で來るか？
▼火蓋を切るのは何處か
▼敵一機も來させない法は
▼ロシアから二時間だ
▼三噸の爆彈で東京は全滅
▼一番先きに何處を狙ふ？
▼六百萬市民を二分間で殺す
▼防毒はいかにする？
▼戰爭の形式が變つて來た
▼日本は一體どうなる？
▼日本全土は空襲の好目標
▼戰爭を喜ぶものは誰？
▼落下傘戰法恐るに足らず
この外緊急の大問題續出
如何に今後の戰爭の物凄いかを見よ！！

王女の風 現代小說

生活全部の緊張

（遊びでも仕事でもすべては人生、働く、緊張してやるべき眞理を說いた。）新潮社長 佐藤義亮

アラガンの怪力と闘ふ

日本柔道の眞價を示す 探偵小說 高垣六段武勇傳

貧乏時代を語る

林學博士 本多靜六氏
新聞記事 俵藤丈夫氏
前國務長 濱田國松氏
三氏交々に語る新時代の若人と病後の日本全國民に贈るその起死回生の秘訣

釣りと箒の漫談

知識、趣味、掃きよせて話にあり 天野雉彥
人もの縁的から小ものでは自慢つり迄 松内則三
橫溝正史

蟲光夜

探偵小說

母父の獄愛 時代小說

吉川英治

手をつく父親 長篇小說

千母澤寬

英雄一代 億人小說

吉川英治

歡樂女王の懺悔

長篇實話

映畫スター出世の緒

近頃面白ばなし

明治書生

時代小說

落雷に寄る川口松太郎

變化 角田喜久雄

如來

實話特輯

名物野球ファン

映畫俳優の替玉男

絶海無人島の戀

簡閱點呼異變

座談會

岡本一平 漫畫

水谷八重子對談會

紅牡丹傳奇 大佛次郎

時代小說

パさん行脚記 金龍

將棋新戰術 金子八段

女社員募集 漫畫爆笑隊

伴らぬ女 藤澤桓夫

現代小說

日日のページ

臺灣新聞社

(三)　A　昭和十二年四月七日　臺灣日日新報　第一万三千三百二號　(第三種郵便物認可)

物價の騰貴
大衆層の不安
政府は對策を確立せよ

一　物價問題に關しては、吾々は之迄にも何回となく本欄に於て論じて來た。それは政府のインフレーション政策把持以來、吾國物價の騰貴著しく、政府が國大衆の國民生活の安定そのものを脅かし、所謂インフレ現象なるものの反國を招來してゐる。多數國民の生計脅威、不安、焦慮をどうして呉れるか、又物價の急騰は唯に國民生活の脅威のみならず、一面本年度の輸入超過の激増と共に、日本の國民經濟が依存する貿易の上に、脅威を大であるから、政府當局はこれに今後如何なる對策を以てするか、吾ら國民が焦慮の内にも知らんとするは尤もである。

二　一體我々の政府は其の政綱、政策にかゝる國民生活の安定といふ文字を含め、國民生活を左右する物價の調節には萬全の注意を拂ふべきに關するが、之迄のところ殆んど物價調節といふものを具體的に講じてたことがない。何とか調節をつけて貰ふが當然であるやうだ。現内閣の結成當初の如きも實現する處によれば四月議會前に物價調節と共々伊勢神宮への勅使の發遣、車中締としてご最近物價調節機關には、世界的の大勢を反映するもので、之が抑制は困難なばかりか行政的に取締るは却て悪影響があつて悪いの、又「日常物價の調節機關」には警視廳による方策もあるが、所謂の如き姑息的心せず、根本的解決者個々の經濟行を國論ならしめる、物價の調節は夫れだけ經濟の調節を意味し、擴大的には國民經濟の調節とされたと同じことになる。又今日國民所得の一大源泉たる輸出貿易が物價騰貴のために、夫れだけ輸出貿易を悪くし、為替關係といふ有利な條件が相殺されてしまふことになる。即ち國民大衆にとつては增給、手當又は年の他所得增加のことがない限り生計を脅威することゝ、言ふ迄もない。

三　飽つて後に貧相の見る如く、之がどうすることも出來ない大勢の趨行であるとしても、他處に物價騰貴といふ現象から派生する種々なる經濟事件發展に對處するだけの甲斐性を發揮し得て初めてはならないものと信ずる。茲に心すべきは今日世人の眼前に見る物價騰貴は貨幣の上昇、勞働條件の改善、大衆購買力の增大等によつて招かれたものでない。それは主として國際關係と思惑から來たものである。從つて物價が上れば上るほど國民大衆の生活上の不安は增すばかりだ。それやこれやに對して行の儀政は出來ない筈である。從つて直接取締りは不可としてもなんら善處するが如き原因を取締り、物資に對する需給の調整については、ゆくゆくが政策を發動させる要がある。

四　物價騰貴施への關聯、輸出貿易への悪影響甚大なると思へば政府は如何なる對策をとるか、更に物價高騰による重要國民反映（繰返して言ふが直接取締りは不可）

經濟特別委員會を
日支の間に新設
兒玉使節團長の報告を俟ち
政府本格的に乘出す

【東京六日發】日支經濟提携に關する基本的諸問題を調査研究せしめる爲五日夜開催した廣田首相、結城藏相、賀屋商工相、佐藤外相、結城拓相等政府首脳者に對し新支那の現狀並に日支經濟關係の近況等に關し詳細報告を爲すと共に日支經濟提携の具體化について意見交換を行つた結果、中日實業協會發展の爲め兒玉使節團の歸朝を俟つて左の如く「經濟提携」の實現を計畫することゝなつた、先づ第一着手として日支間に特別委員會（日滿經濟委員

財界鎖談

軍需インフレで浮上る會社

ボロ工場にも花が咲き此のところ陽春謳歌

軍需インフレで浮かび上つた會社は殆ど數へ盡せない、例へば東京瓦斯電工の如き滿洲大豪の大反動時代には閉鎖を餘儀なくされ、十五銀行破綻の一つの原因を為したくらゐで、同じ系統の會社としては一蓮の運命にあつたものである、それがこの軍需インフレの波に乘じ所謂ボロ會社の標本のやうにいはれたものであるが